

\ ころをつなぐ情報誌 /

うきは

 2021.11.15
 No.387

掲載記事は11月1日時点で作成しています。新型コロナウイルス感染症による影響で、掲載記事の変更やイベント等が中止・延期となる場合があります。詳しくは市ホームページ、各問い合わせ先で確認してください。

目次

- 3 農業者年金制度への加入のおすすめ／
無料職業紹介所
- 4～5 上半期の財政状況
- 6～7 人権週間・人権フェスティバル／子育て
と教育を進める集い
- 8 市有財産売却のご案内／11（いい）月
30（みらい）日は年金の日／STOP滞
納!!県下一斉徴収強化月間
- 9 図書館新サービス開始／うきは市空き家
バンク／断酒会／野外焼却の禁止
- 10 特殊詐欺被害防止対策機器の購入・設置
支援／うきは市アリーナ各種教室の募集
- 11 市民大学自主運営講座の募集／
森林セラピー
- 12 うきはのはなし
- 13～14 広域情報／有料広告
- 15 TAO BEST LIVE 2022
- 16 まちの話題

今月の表紙



人権の花運動（福富小学校）

10月26日大石小学校と福富小学校において、人権擁護委員協議会の取組として、「人権の花運動」が実施されました。

福富小学校では、3年生の児童35名が人権学習を受けたあと、人権擁護委員と先生方の協力のもと、運動場にスマイルハートの人文字を描き、エコ風船（水溶性の紙で作られた風船）にひまわりの花の種を付けて、遠くの人に届くようにと願いを込めて飛ばしました。

晴天の空に高く舞い上がった風船を、校庭の端まで追いかけた児童たちは、名残惜しそうに風船が見えなくなるまで手を振り続けていました。

お礼のあいさつの中には、「一生の思い出になりました。」と言う児童もいたように、秋のうきはで子どもたちの素敵な思い出ができたようです。

<人権の花運動の趣旨>

「人権の花」ひまわりを協力して栽培することで、周囲を思いやる心、相手の立場を考える心、命を大切にする心を育て、その成果を周囲に発表することにより、子どもの情熱をより高め人間関係を豊かなものにするものです。